

## ●●効果的な習熟度別指導の実施に向けて

（「東京方式 習熟度別指導ガイドライン《小学校算数》」について） ●●

指導部主任指導主事 平井 邦明

「小学校算数科において効果的な習熟度別指導を実施するための研修会」を8月末に実施しました。全小学校から習熟度別指導担当等の先生方に参加いただきまして、ありがとうございました。

既に御案内のとおり、国や都が実施している学力調査の結果から、算数科において、習熟の遅れがちな児童の割合が増加していることや、習熟の進んでいる層から遅れがちな層まで幅広く分布しているという現状が明らかになっています。そのため、「つまずきに応じた指導の工夫」や「前の学年までの内容に立ち戻る指導の徹底」が求められているのです。これまで、各学校において、実態に応じた習熟度別指導を行ってきたところですが、現在の学年の内容が身に付いていないまま進級し、次の学年の学習内容が分からない児童が一定程度いる状況には変わりありません。このような現状を踏まえ、策定されたのが「東京方式 習熟度別指導ガイドライン《小学校算数》」です。ガイドラインには、

- 一人ひとりの児童・生徒の学力を伸長する観点から、習熟の遅いコース（補充コース）は教科書の各単元の基本的な内容までを、習熟の早いコース（発展コース）は発展的な内容を扱うなど、取り扱う内容に差異を設け、設定した学習到達度まで確実に引き上げていくこと。
- 学習指導要領に従っているのであれば、教科書に記載された内容の全てを教える必要はなく、例えば例題レベルの問題等の各単元の基本的な事項のみを扱ったとしても、問題はないこと。
- 「習熟の程度に応じた習熟度別指導の徹底」「学年を超えて分からない箇所立ち戻る指導の徹底」「『できる』『分かる』まで繰り返し指導の徹底」を行うこと。

などが明記されています。これらについて改めて御理解いただく貴重な機会になったと思っています。

来年度からは、指導方法工夫改善加配による習熟度別指導を小学校算数科で行う際には、「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」に基づいて行うこととなります。各学校においては、来年度からの準備を進めていただき、効果的な習熟度別指導をより一層充実していただきますよう、お願いします。

### 目次

- **東京方式**習熟度別指導ガイドライン《小学校算数》について ..... 2
- 小・中学校における外国語（英語）教育の充実に向けて ..... 4

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にさせていただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、順次「学び応援ページ」に掲載します。

（東京都教育委員会ホームページアドレス  
<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

**学び応援ページを御活用ください！**

**東京ベーシック・ドリルも  
こちらに掲載しています！**

東京都教育委員会ホームページ・トップページ  
の下の方に、このバナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、[S9000024@section.metro.tokyo.jp](mailto:S9000024@section.metro.tokyo.jp) へメールを御送信ください。

# 東京方式 習熟度別指導ガイドライン 《小学校算数》について

小学校算数科において、平成27年度から習熟度別指導ガイドラインに基づいた効果的な習熟度別指導を実施することになります。8月26日（火）と27日（水）には、全小学校の算数科における習熟度別指導担当等の先生方を対象とした「小学校算数科において効果的な習熟度別指導を実施するための研修会」を開催し、ガイドラインの意義や内容、実施方法を確認しました。

## ガイドラインのねらい

★ 積み上げ型の教科において、習熟の程度の違いを明確にした学習集団による、効果的な習熟度別指導へ全面転換

★ 思考力、判断力等を育む上で、基礎的な知識・理解や技能は必要。知識・理解や技能の学習内容に焦点化して、個々がスモールステップで段階的にクリアしていく完全習得の指導を展開

### ★ 習熟の程度に応じた習熟度別指導の徹底

\* 習熟の程度を把握して学習集団を編成し、その集団に適した教材を用いて指導する効果的な習熟度別指導を展開する。

### ★ 学年を超えて分からない箇所に立ち戻る指導の徹底

\* 個々の学習状況に応じて、特に知識・理解や技能については、前の学年に立ち戻る指導を徹底する。

### ★ 「できる」「分かる」まで繰り返し指導の徹底

\* 当該学年で解けるようになるべき標準として具体的な問題を示し、遅れがちな子供たちに対する基礎的な問題の反復学習を徹底する。

- ◆ 基礎的な知識・理解や技能の活用による思考力や判断力等の向上
- ◆ 「できる」「分かる」による児童・生徒の自信と学習満足度の向上
- ◆ できるまで挑戦し続ける態度の育成と習慣の定着

自ら課題を解決しようとする意欲や能力

自らの力で自らの未来を切り開いていこうとする15歳

「習熟度別指導ガイドライン」3ページより

## 実施における必須事項

### (1) 指導方法・指導体制等について

- ① 児童の特性の理解と習熟の程度の的確な把握
- ② 習熟の程度等に応じた効果的な学習集団の編成
- ③ 既習事項の学び直しや反復学習などによる「補充的な指導」の実施
- ④ 発展的な内容の学習や課題学習などによる「発展的な指導」の実施
- ⑤ 学習集団の特性に応じた教材・教具等の活用

### (2) 校内の推進体制等について

- ① 習熟度別指導推進のための校内委員会等の組織の設置
- ② 校内推進計画の作成
- ③ 児童や保護者への説明及び意見聴取

### (3) 具体的な目標（達成水準）の設定について

- ① 東京ベーシックドリルのクリア
- ② 「学力向上を図るための調査」の目標値のクリア

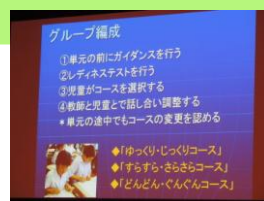
「習熟度別指導ガイドライン」7～8ページより

## 平成26年度新規実施校の実践報告

### 台東区立 忍岡小学校

<主な報告内容>

- ・ 3コースの設定及び具体的な指導内容
- ・ 「学習計画表」と「ふりかえりカード」の活用
- ・ 児童の変容



### 板橋区立 志村第三小学校

<主な報告内容>

- ・ 3コースの学習内容及び担当教員の打ち合わせの方法
- ・ 繰り返し説明させる場の設定
- ・ 学力の向上



新規実施校の両校とも、ガイドラインに沿った習熟度別指導の実施により、

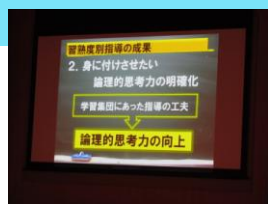
- ・ 推進のための委員会での話し合い及び推進計画により、個に応じた的確な指導ができてきた。
- ・ 「立ち戻る指導」により、児童のつまずきが減り、学習意欲が向上してきた。
- ・ 具体的な達成水準の設定により、教員の意識が高まり、より授業力を向上させる取組ができてきた。という報告がされました。

# 先行的な習熟度別指導実施校の実践報告

## 武蔵野市立 第三小学校

<主な報告内容>

- ・実態把握のためのレディネステスト
- ・技能と思考の2軸による学習集団編成
- ・論理的思考力の育成（板書とノート指導）
- ・習熟の程度に応じた教材開発



## 小平市立 小平第九小学校

<主な報告内容>

- ・全ての授業における習熟度別指導の実施
- ・算数授業研修会の実施（OJT）
- ・保護者へのアプローチ
- ・分かる授業の6つのポイント



5年以上前から先行的に習熟度別指導に取り組んでいる2校の実践報告がありました。研修会に参加した先生方のアンケートには、

- ・先行的に実施している学校の取組から、習熟度別学習の効果を実感することができた。
  - ・学習集団編成のポイントがよく分かった。
  - ・習熟度別指導に関する校内の研修会を年間の計画に入れていこうと思う。
- などの感想が見られました。

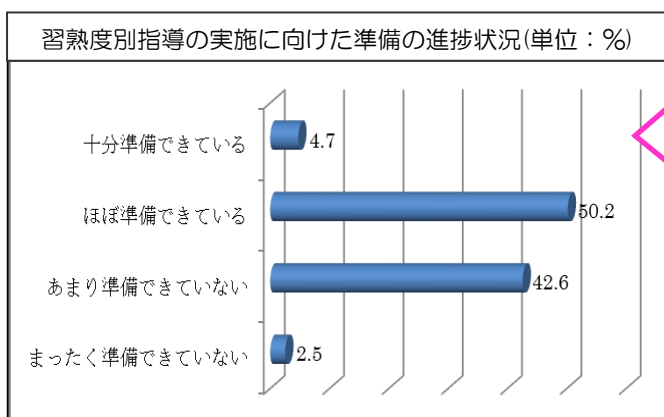


## ガイドラインの実施に向けて

研修会では、来年度からの全面実施に向けた取組状況の把握のために、

現在の勤務校において「ガイドラインの理解」「立ち戻る学習などの指導方法」「推進のための組織の確立」等、効果的な習熟度別指導の実施に向けた準備の進捗状況はどれくらいですか。

というアンケートを実施しました。結果は以下のグラフのとおりです。



「十分準備できている」「ほぼ準備できている」の回答は55%程度でした。「あまり準備できていない」「まったく準備できていない」という回答のうち、“不足している内容”として多かったのは、

- ・校内の推進委員会等、組織の設置
- ・単元指導計画の作成と共通理解

でした。他にも、

- ・ガイドラインの必須事項の共通理解
- ・立ち戻る指導の方法
- ・達成水準の設定

などが挙げられました。

研修会では、「学力向上を図るための教材等作成委員会（習熟度別指導部会）」作成の資料を活用し、単元指導計画の立案や、コースごとの学習内容の差異の設定についても考えていただきました。

右の「実施状況チェックリスト」（ガイドライン19ページ）を活用して、効果的な習熟度別指導を実施するための各校の進捗状況を再度御確認いただき、校内体制の確立等、準備を進めてくださいますよう、お願いします。

習熟度別指導ガイドライン 実施状況チェックリスト(例)

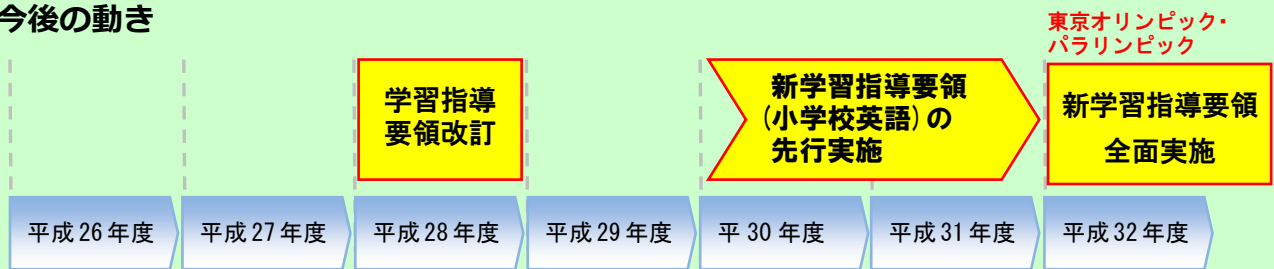
必須事項	確認事項	チェック欄
① 習熟度の把握	○多様な方法で情報収集ができている。	
	○把握した情報を活用し、適に採じた指導に活用できる基礎資料を作成している。	
	○2学年 3 級習熟度別指導として、習熟度の学習集団の編成ができている。	
	○習熟度別コースを設定できる学習集団の編成になっている。	
② 学習集団の編成	○授業の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
③ 単元的な指導	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
	○編成の中で、分からない箇所を立ち戻って指導している。	
④ 教材・教具等の活用	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
⑤ その他	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
	○特別な支援を要する児童に対して、児童の特性に応じた指導法・方法を工夫している。	
⑥ 推進のための委員会等の組織の設置	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
⑦ 校内推進計画の作成	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
⑧ 説明や履修・調整等	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
⑨ 具体的な目標（達成水準）の設定	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	
	○推進委員会を校務分掌に設置している。	

## ●●小・中学校における外国語（英語）教育の充実に向けて●●

文部科学省が平成 25 年 12 月に発表した「**グローバル化に対応した英語教育改革実施計画**」では、「初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る。」と述べられています。小・中学校段階では以下のような内容について、現在、検討が進められています。

- 小学校 3・4年 **外国語活動の設定 週1～2コマ程度**  
目標：コミュニケーション能力の素地を養う。
- 小学校 5・6年 **外国語活動の教科化 週3コマ程度**  
目標：読むことや書くことも含めた初歩的な英語の運用能力を養う。
- 中学校 **授業は英語で行うことを基本とする。**  
目標：身近な事柄を中心に、コミュニケーションを図ることができる能力を養う。  
CEFR A1～A2 程度（英検 3 級～準 2 級程度等）

### 今後の動き



現在、文部科学省では、この計画を発表した上で、各都道府県の英語教育推進リーダーを育成するための「英語教育推進リーダー中央研修」を実施しています。

なお、小学校 5・6 年での教科化において課題となる、専科教員の配置など指導体制や人材の確保に関わることは、まだ示されていません。

また、小学校の外国語については、2 年前倒しで、先行実施が予定されています。ただし、この先行実施は、① 3・4・5・6 年全てを先行実施する。② 3・4 年の外国語活動のみ先行実施とする。③ 5 年生だけ教科化し、3・4・6 年は外国語活動のままとする。といった様々なパターンが検討されており、現在のところ、どのように先行実施するかは決定されていません。

都教育委員会は、「東京都英語教育戦略会議」を設置し、現在、「使える英語力」の育成、英語授業の改善、教員の指導力向上等について検討するとともに、小学校で「英語」が教科化された場合の課題の整理と施策の方向性について、検討しているところです。

加えて、以下の二つの委員会で、外国語・外国語活動の授業改善や、学校全体としての取組の推進等について、検討しています。

#### ●小学校外国語活動推進委員会

小学校 5・6 年での教科化及び、3・4 年での外国語活動実施を視野に入れながら、各小学校における外国語教育の充実に向けたパンフレットを作成して、全ての公立小学校の全教員へ配布します（平成 27 年 3 月）。

#### ●英語教育指導方法改善検討委員会

中学校外国語（英語）において、生徒一人ひとりの英語による自己表現力及びコミュニケーション能力の向上に向けて、少人数・習熟度別指導の推進等の施策について検討しています。